

	課題分析	授業改善策
国語	多くの生徒が意欲的に取り組んでいる。読み取った内容を深く考えることや、確かな根拠を述べることに課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> 目的を明確にした言語活動（話し合い活動、スピーチ、ビブリオバトル）の充実 読み方、読み取り方の指導の工夫、改善 問題演習
社会	社会的事象について、教科書をもとに理解することはできる生徒は多い。因果関係や結果について多面的多角的に思考判断し、自分なりの考えを表現することに課題がある。質問には積極的に答えるが興味・関心の差が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ペアワークやグループワークを充実させ、多角的な視点から分析ができるようにする。 自分が学習したことと自分の考えをまとめるなどの単元の振り返りを充実させる。
数学	問題演習などは積極的に取り組むことができる。小学校段階での学習内容の理解に差がみられる。分数や少数の四則等の基本的な知識・技能の定着、知識・技能を活用し、問題解決に取り組む力、文章題の読解力の習得に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> 身近な例を題材に取り入れることにより理解力を深め、数学的な思考力や表現力を深めさせる。 自己評価カードにより自身の学びを振り返る。 習熟度別少人数編成で、生徒のニーズに応じた授業を展開する。
理科	観察・実験は意欲的に取り組むことができる。知識を活用し科学的に思考・表現する力に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート・タブレット・デジタル教科書の使用、練習問題等を通して知識の定着を図る。 観察・実験において考察を文章で記述させる。 積極的な話し合い活動を行わせる。
音楽	合唱等、意欲的に取り組むことができる。基本的知識技能の習得、表現技能、主体的に鑑賞し表現することに課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> 授業内の技能表現活動への声かけ評価を充実する。 主体的に粘り強く学び、互いの教え合い活動を充実する。 パート内で学びを高め合い活動の工夫を図る。 曲の分析・批評を引き出すワークシートの工夫を図る。
美術	課題に対して意欲的に取り組むことができる。作業手順の把握や制作過程に応じた作業に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒席の工夫や全体指導は単純端的にする。 生徒一人一人が作業手順を理解し、その制作過程に応じた作業がスムーズにできるよう、プリントの工夫を図る。 机間指導を通して、指導・助言を行う。
保健体育	運動対して、興味・関心は高い。知識に基づき技能の習得や戦術を練ることにつまずき、主運動による向上できる体力への気づきに課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの充実・単元計画の再編し単元別評価の工夫を図る。 ICT機器の活用し自己分析力の向上を図る。
技術家庭	<p>【技術】 授業や実技作業に積極的に取り組むことができる。基本知識と学力の定着やICT機器を活用し能力を向上させようとする意識に課題がある。</p> <p>【家庭】 授業への取り組みは、意欲的である。個人の差が大きく、作業が遅れることもある。学習内容の定着や技能の向上に課題がある。</p>	<p>【技術】 機械や工具の正しい使い方を指導し、安全について理解を深め作業をする。 授業内容の確認や学習の振り返りに、タブレットPCやICT機器を活用し、学習内容の定着をおこなう。</p> <p>【家庭】 理解を深めるためのワークシート、ノートを活用し、学習内容の定着を行う。 生徒の作業状況を把握し、机間指導の中で支援を必要とする生徒への指導・助言を行う。</p>
外国語	苦手な問題も、友達と協力しながら取り組むことができる。聞いたり読んだりした内容について、自分が考えたことや感じたことを書く力に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間ライティングの時間を設ける。 単元の終わりにレポートや英作文を書かせる活動を行う。

